

高精度な位置を利用する社会へ

電子基準点網が「みちびき」による高精度測位を支える！

平成30年11月からサービスを開始した準天頂衛星「みちびき」は「日本版GPS」とも呼称され、リアルタイムかつ高精度な測位が可能となる「センチメートル級測位補強サービス（CLAS）」が特長の一つ。

CLASには、電子基準点の観測データが使われています。

準天頂衛星
「みちびき」

出典：qzss.go.jp

管制局で補正情報を作成し、送信

補正情報を配信

中央局
電子基準点のデータを提供

電子基準点

位置情報サービス事業者が補正情報を作成し配信

国土地理院で地殻変動補正情報を作成し提供

定常時地殻変動補正システム

民間等の観測点

高精度測位社会を実現



ドローン物流



ICT施工



自動運転



スマート農業

出典：第1回中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転ビジネスモデル検討会資料

出典：地理空間情報活用推進会議事務局 G空間プロジェクトパンフレット

地図と動き続ける地面を整合させる

地図は過去のある時点の位置を基に作られますが、地面は地殻変動により常に動き続けています。そのため、「**地図上の位置**」とGNSSによって計測される「**現在の位置**」の間には、時間経過と共に累積し拡大するズレが生じます。

国土地理院では、このズレを補正する「**定常時地殻変動補正システム（POS2JGD）**」を整備しました。



地殻変動によるズレを補正

地図上の位置

現在の位置

補正情報を提供

高精度測位社会とは？

準天頂衛星運用体制の整備、屋内外の測位環境・技術の進展、スマートフォン等の携帯情報端末の普及・高度化等により、高精度な測位環境が整備された社会のこと